

10月27日～11月9日は

## 第75回 読書週間です!

### ◆読書週間とは?

戦争が終わった2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、書店・新聞・マスコミなどが力をあわせ、第1回「読書週間」が開かれました。

今年の標語は「最後の頁を閉じた 違う私が出た」です。夢中で本を読んだ後、心がしばらく本の世界から抜け出せないことはありませんか? 考え込んだり、前向きになったり、本を読む前の自分とは少し違っているはず。一小のみなさんも、この秋たくさん本の出会い、本のすばらしさを感じてください。



## ぜにてんどう 銭天堂へようこそ

一小図書館では、『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』シリーズが大人気です。14巻まである本は、いつも誰かが借りて読んでいる状態です。「銭天堂が好き!」という人も、「まだ読んだことがない」という人も、もっと本が読みたくなるように、3つのコーナーでご紹介します!

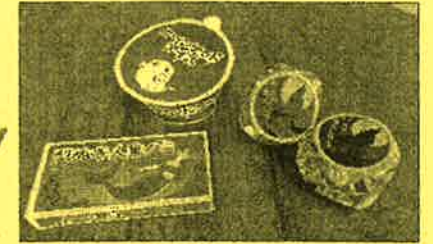
### 1. 銭天堂ってなに?

幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋さん。店主の紅子がすすめる駄菓子は、どれもその人の悩みにぴったりのもの。でも、食べ方や使い方を間違えると…。幸福を呼ぶか、不幸をまねくかはその人次第!

### 2. どんな駄菓子があるの?

物語に登場するのは、ふしぎな駄菓子。人魚のように泳げるようになる「型ぬき人魚グミ」や、オオカミのような大きな力を得られる「ウルフまんじゅう」など、食べると悩みが解決するものばかり。

なんと、ふしぎな駄菓子を一小図書館に少しだけゆずってもらいました! 飾ってあるので、ぜひ、見に来てください。



### 3. 読みたい本が貸出中…そんなときは!

- ◆「予約カード」で、ひとり1冊まで予約することができます。
- ◆図書館には銭天堂の著者・廣嶋玲子さんの他の作品もあります。こちらも、とってもおもしろいので、いかがですか?

#### 「十年屋(1) 時の魔法はいかがでしょう?」

小さなころからずっと大事にしていたぬいぐるみ、大好きなひとからもらった写真、会えなくなった友だちに見せたかった雪だるま。忘れたくても忘れられない大切なもの、思い出と一緒に、魔法でお預かりします。



#### 「もののけ屋 一度は会いたい妖怪変化」

「あんなことができたならなあ」「こんな力があればなあ」と深あいため息をついた悩める子供のもとに現れ、不思議な力を貸してくれる、その男の名は「もののけ屋」。出会えたらラッキー? それとも…。



読書の秋。ぜひ、図書館に足を運んで、夢中になれる本を探してみてください。おもしろかった本を、友達や家族におすすめして、みんなで読書を楽しみましょう。